


2019年 教育カウンセラー養成講座(松本会場)

学級集団のアセスメントと学級経営

実際のデータを使い、具体的に考えてみましょう!



名城大学 曾山和彦

2019.1.13

学級経営とは

(吉田・大森, 1999)

学級担任制(小)、教科担任制(中、高)、
いずれも学級担任は必ず**学級経営**に携わる

2

学級担任が行う主な条件整備とは

1. 学級目標づくり
2. **学級づくり**
3. 教室環境づくり
4. 保護者との関係づくり
5. 地域との関係づくり
6. 学級事務

3


学級経営の基本と課題

□ 学級経営は、学級担任の創意工夫に任される。児童生徒は担任の立ち居振る舞いから受ける影響(潜在的カリキュラム)が大きく、それ故、担任の責任は重い。

学級経営の基本と課題


(基本)すべての児童生徒にとっての居場所づくり
学級という「機織り」

(課題)よりよい居場所づくりの方法の探求



よりよい学級づくりがすべての教育課題を解決する!

私の実践&研究の現在地



- 「学力の秋田!」(学習指導)
- 「秋田わか杉っ子学びの十ヶ条」(生徒指導)

秋田県教委指導主事・管理主事として在職していたため、学校現場の状況はよくわかります

- 「気になる子が溶けこむ授業」(特別支援教育)

「クローズアップ現代」にて紹介されたA小、その実践を継ぐB小の両校にかかわり、成果を目の当たりにしています

子どもが笑顔になる学級は、**保護者**もまた笑顔に!


5

再掲

学級づくりの理論

~I think の前には理論が必要(國分)~

自尊感情&ソーシャルスキルが
今どきの子どもを観る重要ワード



- 「居場所」の2条件(國分、河村)
・「ルール」と「ふれあい(リレーション)」
- A. マズローの階層説が「居場所」の理論ベース

ふれあい (自尊感情関連)
ルール (ソーシャルスキル関連)

自己実現
承認
所属・愛
安全
生理的

だから、まずはルールなのです!

6

Q-U

～個と集団の把握のために～

hyper-QUIは、ソーシャルスキル尺度が加わる

- 河村(1994)により開発された診断尺度
- 学級満足度尺度と学校生活意欲尺度、自由記述からなる

教師が使える

利点

- 短時間でできる
- 気になる子どもを事前に発見できる
- データ理解に専門性を必要としない
- 視覚化されている

7

学級満足度尺度

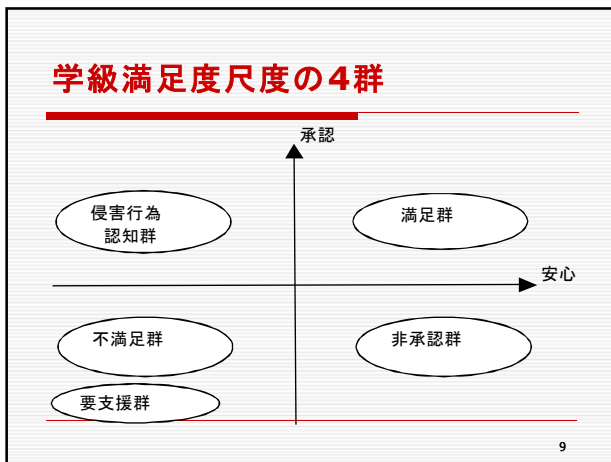
(いごちのよいクラスにするためのアンケート)

子どもの承認感、安心感を測定するために、約300問から絞り込まれた質問項目により構成

小学校版 全12問(承認6・安全6)	中学・高等学校版 全20問(承認10・安全10)
-----------------------	-----------------------------

承認感と安心感の高低の組み合わせにより、結果は4群にプロットされる

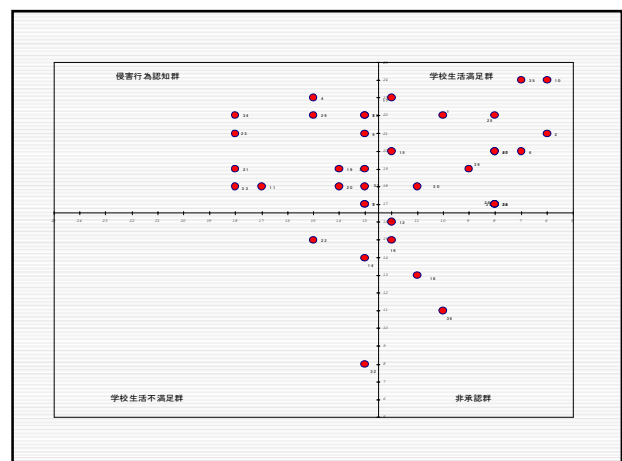
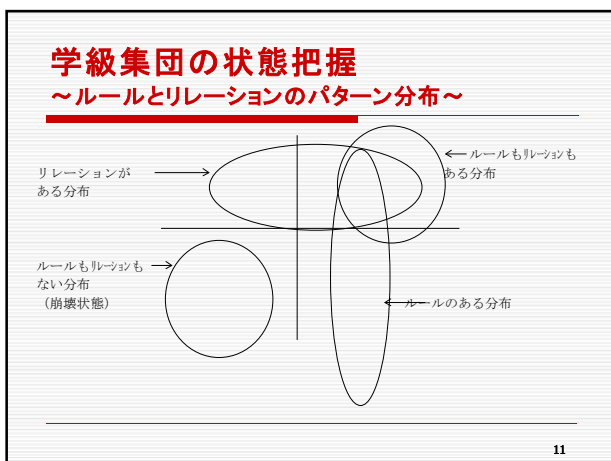
8



4群の特徴

- 満足群**;勉強、生活面で自ら動ける
- 非承認群**;嫌なことは感じていないが、承認感がないため、意欲が落ちている
- 侵害行為認知群**;勉強、生活面での意欲はあるが、人間関係上のトラブルを抱える。被害者意識の強いケースもあり
- 不満足群**;承認・安心感が乏しく、多くは個別・緊急対応を要する

10

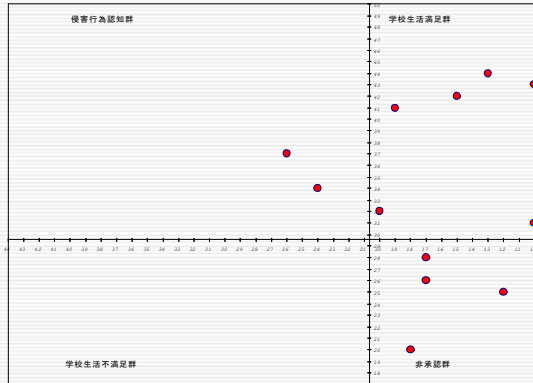
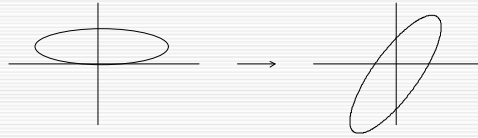


横型学級の問題

教師が厳しくない分、学級の雰囲気はほんわかしている。小さな寺子屋風。授業中、「先生、これやっていい？」という声が飛び交い、自ら考える活動が乏しい。かかわり上のトラブルも多く、教師はその都度対応を求められる。小集団グループがたくさんあり、内部に閉じて「私たち仲間よね」という意識で動く。共通の敵を作ることによって団結が強まるため、グループ同士の仲が悪くなる。見えないいじめが進行していく。

横型からの学級崩壊プロセス

□ 教師が穏やかで友だち感覚のかかわりをする学級。子どもたちは認められている感覚はあるが、ルール遵守が弱いので、いじめられ感をもつ子どももいる。その子たちはやがて不満足群に流れる

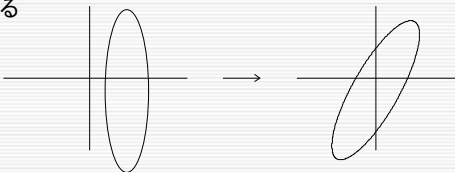


縦型学級の問題

一定のルールの中で集団活動がとれるが、教師の力による押さえつけでルールが守られている場合、そのルールは子どもの中に内在化していない。厳しい教師がいないところで、日頃の不満が噴き出す。教師の評価基準により、子どもが階層化されており、承認感の乏しい子どもは苦しい立場にいる。真ん中以下にいる子どもはあきらめの気持ちになる。

縦型からの学級崩壊プロセス

□ ルールがしっかりしているため、侵害行為を認知していないが、教師の評価基準により、承認感のある子どもとない子どもが階層化している。承認感のない子どもはやがて不満足群に流れる



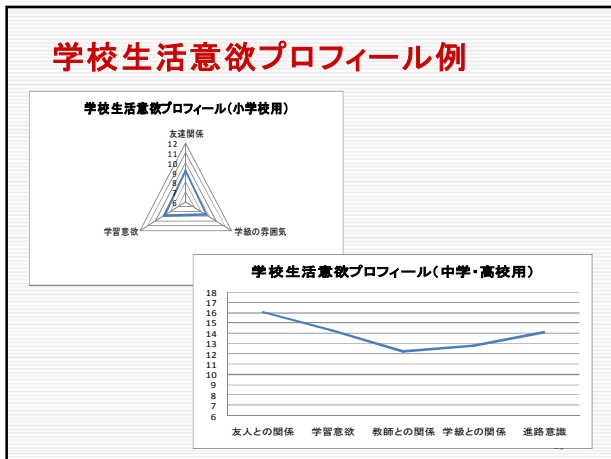
学校生活意欲尺度

(やる気のあるクラスをつくるためのアンケート)

子どもの「友人関係」等に関する考え方、感じ方の測定のために絞り込まれた質問項目により構成

小学校版
全9問(友達関係3・学習意欲3・学級雰囲気3)

中学・高等学校版
全20問(友人関係4・学習意欲4・教師関係4・学級関係4・進路意識4)



ソーシャルスキル尺度 (ふだんの行動を振り返るアンケート)

子どものソーシャルスキル(対人関係のコツ)を測定するための質問項目により構成

小学校1~3年版全12問(配慮6・かかわり6)
小学校4~6年版全16問(配慮8・かかわり8)

中学校版全18問(配慮9・かかわり9)
高等学校版全20問(配慮10・かかわり10)

「いごち」で大まかに、
「やる気」、「行動」で丁寧に把握

20

私たちは子ども・学級の状況を どれくらい把握できるのか

- 顔は笑って、心の中が涙で溢れている子どもを把握できるのか
- 一人で給食を食べる、その子どもの辛さを把握できるのか

↑

教師の行動観察という「物差し」を補う、別の「物差し」を当てることで救える子どもがいるのではないか

なぜ、今、Q-Uか ~子どもの心の状態把握のために~

- ・見えにくい心の状態を把握するため、一つのツールとして、A県の事件を機にQ-U導入(B県教委)
- ・C県の事件の際、複数の新聞がQ-U導入県を紹介
- ・教師は子どもを見る目を鍛えることが第一。加えて、子ども自身の評価による客観データ(例:Q-U)を活用する

22

Q-Uはどのくらい信用できるのか

- 標準化(安定性、信頼性、妥当性)された心理尺度 → エビデンスとなり得る
- 多くの教師が、「7~8割の生徒の位置は納得できる」と言う → 教師もQ-Uもどちらもすごい

↑

それでも、「データより自分が必ず先に歩く」

Q-U活用の具体的効果 ストロングポイント

- ・気になる子どもの早期発見につながり、予防対応ができた
- ・子どもの変化を以前よりも意識して見るようになった

「データを前に歩かせず、
自分の横に連れて歩く」

絶対、忘れないように!

24

Q-U活用の手順

1. プロット図から学級状態を大まかに把握
・「うちの学級は何型だろう？」
2. 満足度、意欲、ソーシャルスキル尺度の各素点をネガティブチェック
・「子どもは何にネガティブな思いがあるのだろうか？」
3. 行動観察(影響力のある子、気になる子、グループ等)とデータのズレを確認
・「やっぱり」、「えっ？ 何故、この位置にいるの？」
4. 対応策の検討(学級全体&個別)
・「学級全体への支援は、先ず〇〇をやろう」、「A君には〇〇をやろう」等

25

縦(横)型時の対応が大切な理由

- ・対応(支援)の方向が1方向で済む

・斜め型が難しいのは、対応(支援)方向が2方向になるから
・斜め型が「崩壊の兆し」とされるのは、不満足の子どもが、満足の子どもを「引き下げる」心理が働きやすいから

26

アセスメント・対応策検討に向けて —素点から学級状態把握と具体対応のヒントを得る—

学校生活意欲尺度、学級生活満足度尺度、ソーシャルスキル尺度の素点のうち、**ネガティブ評価**を拾い上げる *学級の「強み」をみるならポジティブ評価を拾うとよい



チェックシートを「縦に見る」→学級状況把握&全体支援
チェックシートを「横に見る」→個別状況把握&個別支援

27

データを参考に対応策を練り上げる ～私たちの「腕の見せどころ」～

我流では**学校経営**は倒産する。これまでの学級づくりに安住することなく、新たな視座に立って実践の更新を(前田勝洋)

学級経営も同様！



カウンセリング理論&技法を活かし
「チーム学校」で対応する

28

5年2組全体アセスメント・対応策 その1

1. 満足度尺度プロット(資料:プロット図)から**大まかに**
・プロットの型は→
・対応策の基本は→



2. 満足度尺度素点(資料:いごこち)から**丁寧に**
・承認・被侵害のどちらが気になるか→
・対応策の焦点は→

29

5年2組全体アセスメント・対応策 その2

3. 意欲尺度グラフ(資料:意欲プロフィール)から**大まかに**
・意欲の状態は→

4. 意欲尺度素点(資料:やる気)から**丁寧に**
・対応策の焦点は→

ハイパーQUでは、次に「ソーシャルスキル尺度」も同様に分析

30

5年2組個別アセスメント・対応策

1. 満足度尺度プロットから**大まかに**
・教師の目とデータのズレを確認
2. 満足度尺度素点から**丁寧に**
・生徒の承認及び被侵害の認知を確認
3. 意欲尺度素点から**丁寧に**
・生徒の友人、学習、学級への意欲の認知を確認

丁寧に見ると、不満の中身が見えてきます



ハイパーQUでは、次に「ソーシャルスキル尺度」も同様に分析

31

「高学年女子のグループ化」は何故？

- **ギャングG**; 児童期後半。同一行動を前提とした一体感がもたらす親密さ。仲間集団の承認第一。男子に特徴的
- **チャムG**; 思春期前半。互いの共通点を言葉で確認。仲間内の秘密共有、誰かを仲間はずれにして集団の一体感を高める。女子に特徴的
- **ピアG**; 思春期後半。異質を認め合い、ぶつけ合い、他者との違いを確認し、自分の中のものを築き上げる。集団への出入り自由。自主性の尊重

仲間関係の発達について理解しておきましょう！

32

仲間関係発達から見る現代子ども像

- **ギャングGの消失** ← 三間の消失
- **チャムGの肥大化**; 仲間への強い同調性
- **ピアGの遷延化**; 相手の同意を探ったり、軋轢をなるべく避けたりする姿勢が目立つ。薄められたチャムG

5年2組の子どもたちにも上記の傾向が見える

33

腕の見せどころ・・・私が5年2組担任ならば

が浮き彫り
* 性差に留意した言葉かけを！

- ・すべての子のグループにボールを投げる(「グローブ」理論)
- ・1日10回声をかける(「穴の空いたコップ」理論)
- ・短時間グループアプローチ導入(「泳力&浮き輪」理論)

私の中のベスト1
「いいとこ四面鏡」

まずは先生方が体験を！



34

おわりに

- 複数の「物差し」をもつ
- 使えるものは何でも使う
- 一つだけでは多すぎる

35

3月発刊！
学級経営に活かします！

週1回10分の実践で**不登校ゼロ**を実現！
注目の**Simple (Slim & Simple) プログラム**!!

誰でもできる!
中1ギャップ 解消法
第1回10分 Simple プログラム

誰でもできる!
中1ギャップ 解消法

週1回10分の実践で不登校ゼロを実現した注目のプログラムを
個人から指導員、保護者の皆様まで詳しくわかりやすく紹介！
学級な実践だけでなく、指導員向けに、子どもたちも楽しく実践する
うちに「わかるのができてんぞっ」
イラストによる解説で読者の理解の深まりやすい！

3月発売
予約受付中!

著者 曾山和彦 (名城大学教員) / 絵 野々村 真 / 定価 (単本 1,800円+税) / ISBN978-4-88550-504-4

36